



2022年9月9日

各位

会社名 株式会社OSGコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 山田 啓輔
(コード：6757 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 安岡 正彦
(TEL. 06-6357-0101)

2023年1月期第2四半期 業績予想値と実績値との差異
及び
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2023年1月期第2四半期(2022年2月1日～2022年7月31日)の業績予想値と実績値との差異及び通期(2022年2月1日～2023年1月31日)の業績予想について、2022年3月11日の「2022年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 2023年1月期 第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正

(1) 第2四半期(2022年2月1日～2022年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,200	640	640	330	63円52銭
実績値 (B)	4,146	278	307	170	32円79銭
増減額 (B-A)	△1,054	△362	△333	△160	
増減率 (%)	△20.3	△56.6	△52.0	△48.4	
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期第2四半期)	5,158	677	690	404	77円79銭

(2) 通期(2022年2月1日～2023年1月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	10,300	1,270	1,270	650	125円12銭
今回修正予想 (B)	8,000	500	500	275	52円93銭
増減額 (B-A)	△2,300	△770	△770	△375	
増減率 (%)	△22.3	△60.6	△60.6	△57.7	
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期)	9,867	1,141	1,161	638	122円90銭

2. 修正の理由

当連結会計年度における第2四半期の業績予想値と実績値との差異理由は以下のとおりであります。

水関連機器事業につきましては、第1四半期にオミクロン株による新型コロナウイルスの第6波が発生、第2四半期には第7波が発生し、感染が全国に急拡大いたしました。特に、第6波においては、移動制限や接触制限によって販売活動が限定されました。その結果、売上高1,056,549千円（前年同四半期比20.4%減）、営業利益2,035千円（同98.1%減）となりました。

また、フランチャイズ事業の「銀座に志かわ」事業においては、日本国内ではここ数年は高級食パンブームによって「食パン専門店」市場への参入が増加し、レッドオーシャン化が進み、同時に淘汰の時代へ移行しております。当社グループもレッドオーシャンの波を受けた結果、売上高1,517,947千円（同31.0%減）、営業利益93,477千円（同73.4%減）となりました。

通期につきましては、販売活動は第2四半期において、状況は上向いております。当社グループはSDGs達成に向けた取り組みの一環として、「ステハジ」プロジェクトを推進しており、このプロジェクトのもと、新商品や新サービスの提供とともに販売促進を積極的に行っております。そのことが今後の業績に寄与すると見込んでおります。

しかしながら、「銀座に志かわ」事業においては、当期につきましては、引き続きレッドオーシャンの影響が続くことにより、通期の売上高計画から約35%減少するものと予測しております。

従いまして、期首の通期売上高計画から22.3%減少するものと予測しております。また、利益につきましても、特に、「銀座に志かわ」事業において、「アフターレッドオーシャン」に向けて、加盟店支援強化施策を打ち出しており、減少する見込みとなっております。

3. 配当予想について

当初の予定どおり、1株当たり40円の配当を予定しております。

(注) 当資料に記載の業績予想等につきましては、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件、要素により当資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上